



デンタル小町が通る

根本京子③

ねもと歯科クリニック院長



今年も「歯の衛生週間」の季節がやってきた。6月には毎年、子供たちがお世話になった保育園で歯磨き指導をしているのだ。

今回で13回目となるが、園児たちは首にタオルを巻いて、歯ブラシ片手にこの時を楽しみに待っていてくれる。

最初の頃は染めだしをした途端、口が薬で真っ赤になるのが怖くて泣いてしまい、涙と鼻水と赤色のよだれで本人も園の先生方も大騒ぎになることもあったが、少しずつやり方を改良し、今ではみんな楽しく歯磨きの仕方を練習できるところになった。

いどももの歯磨き

紙芝居の読み聞かせ、染めだし、歯磨き指導、歯に良いもの悪いものクイズなど内容盛りだくさんで時間はかかるものの、みんな飽きずにノリノリでやってくれる。

最近では噛むことの大切さを伝えたり、口をポツカンと開けている子には声をかけたりしている。こんな小さな活動

も13年経つと園の先生方や園児にとって食後の歯磨きは当たり前前になり、すっかり定着してくれたようで、嬉しい限りである。

ところが、小学校に歯磨き指導(4年生を対象)に行くと愕然とする。昼食後、忙しいから、面倒だからなど、色々な理

由で歯を磨かない。前歯の表面、奥歯の裏側などにべったりとプラークのついた子供が大勢いるのだ。

さすがに4年生くらいになると仕上げ磨きをしてもらっている子は少ないだろうし、時間に追われ忙しいのかもしれない。だけど理由はそれだけではなさそう。何かこの

時期に、むし歯予防や噛むことの大切さ、歯磨きをする習慣付けで良いアイデアはないものか。

私の勝手な妄想で申し訳ないが、

提案その1. 歯医者さんで定期健診を受ける場合、学校は欠席扱いにならない。

その2. もちろん全額補助あり。

その3. 学校長の命令で職員全員歯磨きをしないと減給。

その4. 前日、歯磨きをした児童のみ次の日の昼食が食べられる。

その5. 6年間頑張った磨いた児童は豪華なプレゼントをもらえる。

いかがでしょうか？